



せっかくできた彼女が寝取られました。
洋口り美少女パウラ

～サンプル版～

う、うん。

ほらほら、ユウくん、
笑って笑って。

はい、チーズ♪



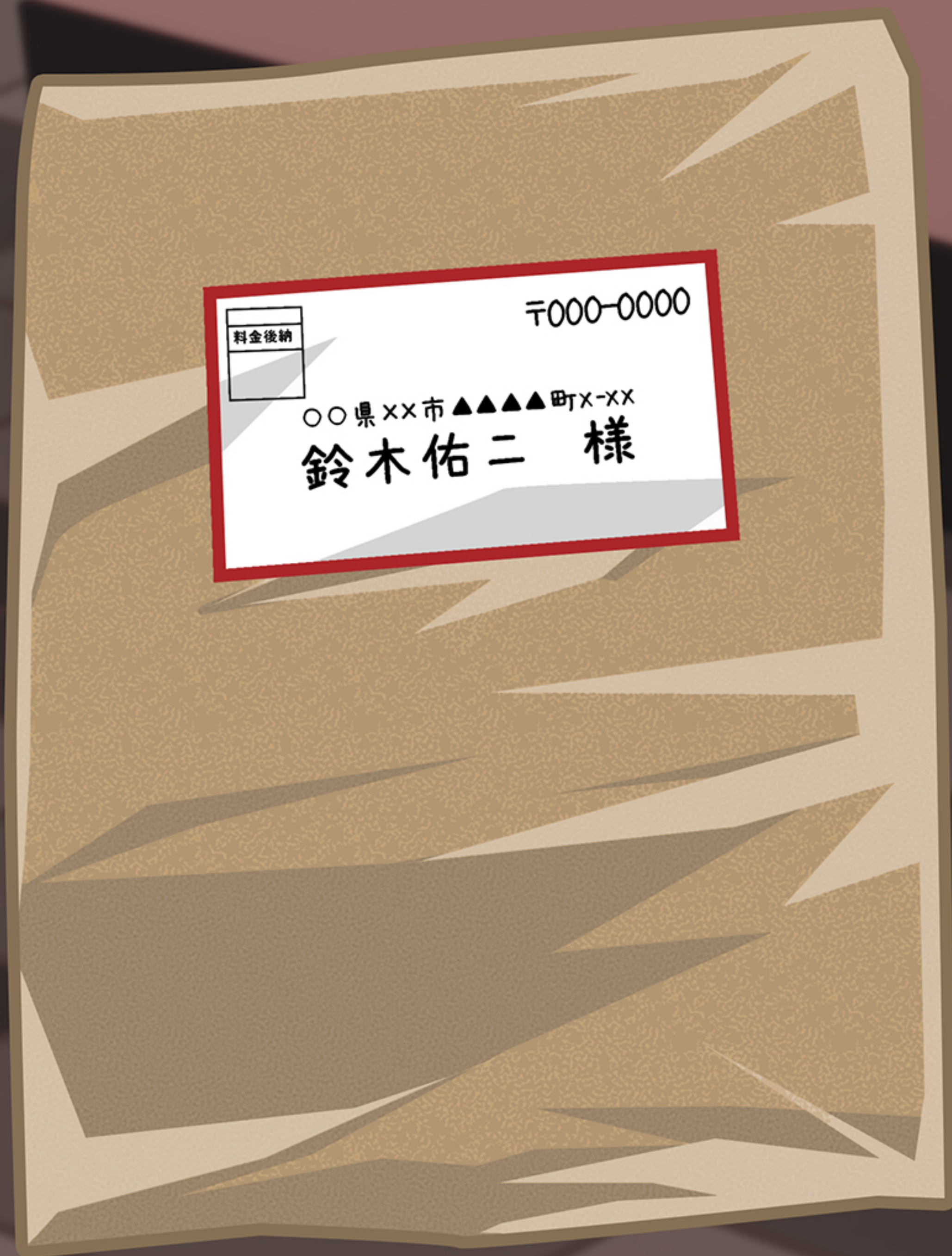
僕の名前は鈴木佑二。
隣にいる女の子は相川パウラ。
僕の幼馴染だ。
パウラはハーフで、父親が外国人だ。

日本人離れした愛らしい容姿をしているが、
その外見のためか、僕以外の友達は
ほとんど作っていない。
寂しがり屋なので、いつも僕と一緒にいた。

ある放課後、僕はパウラとともに公園にいた。
放課後はよく二人きりで遊んでいるが、今日はそうじゃない。
僕は大事なことのために、彼女を連れてきたのである。

僕の様子がいつもと違うことに気づいたのか、
パウラは小首をかしげて僕の顔を見つめている。





翌日、パウラと順調に交際を続けている僕のもとに
差出人不明の荷物が届く。
その中にはDVDが入っていた。

なんだこれ、すげーヤバそう。

超・超・超絶美少女!?
生ハメレ○プ♡

みんなで楽しく
マワしたよ♡♡♡

DVDには「超・超・超絶美少女生ハメレ○プ!?
みんなで楽しくマワしたよ」と書いてあった。

いっ！やー！ やめてよ！
こんなの撮らないで！

アレ？ ちゃんと映ってないわこれ。

嘘だろう…もうはじめちゃったんだけど。

雑音だらけで聞き取りづらい音声と、
不鮮明な映像が映し出された。

パ、
パウラ!?

そこに映し出された女性の姿は、
まぎれもなく僕の彼女の相川パウラだった。
僕は混乱した。頭の中がグルグルと回るのが分かった。

なぜ? どうして? なんで彼女がこんなことに?
幾度となくそんな言葉が頭の中に浮かんでは消える。
もちろん僕の疑問に答えてくれるはずがない。

あああああああああ！

振動音とともに、パウラの身体が激しく痙攣し、
局部から透明な液体が大量に吹き出した。
あまりの勢いに、おもらしかと思ったほどだ。

おっ、めちやくちゃ
感度いいじゃん！

エッチの才能あるんじゃない？

そんなことを言い続けながら、何分ものあいだ、
電マがパウラのおまんこを攻め続ける。



いやぁーなんで！
満足したらもうしないって
約束してくれたじゃない！

このくらいで満足
できるわけじゃないじゃん。

むしろもっと犯りたく
なっちゃったよ。

奉仕を強要させられたにもかかわらず、
あんまりな男たちの言葉に、パウラは愕然とする。

それじゃあ今度は
バックで楽しもうね。

それからパウラは代わる代わる
色々な男たちの肉棒を受け入れることになる。

みんな好きな体位は異なるのか、
ビデオとしての演出なのかはわからない。

しかし、パウラがより一層
辱められていることは事実だ。

パウラは四つん這いにされ、まるで精液まみれの
秘所を見せつけるかのようなポーズをとらされる。

ここれすごく
はずかしい……

まあいいからいいから。

めろふり

やさしい男に言われるまま、
パウラは仰向けに寝て大股を開かされる。

みっともないまでにぐちぐちやになった
パウラのまんこがカメラの前で露になり、
パウラは羞恥心で真っ赤になる。

！！

ふん！！

ぎゅ、ぎゅぎゅよ。

それまで何人もの男の肉棒で
さんざん犯されたパウラですら、
その別次元のサイズに啞然としていた。

その男のペニスは、パウラの顔が
隠れるほどの特大サイズだった。

そのパウラの表情がよほどうれしかったのだろう。
心なしか声が弾んでいる。

いやあ、パウラちゃんの
えっちな顔を見ていたら、
またみんなで犯したくなってきたよ。

いーいーやあ……

数人の男がパウラを取り囲む。
パウラを抱きかかえていた男の肉棒は
すでに挿入されていた。
さらには両手で男の肉棒をしごいている。

ほら、みんなの
ザーメン受け取って！

あぁっ！
私もイッちゃう！



せっかくできた彼女が寝取られました。洋口リ美少女パウラ
～サンプル版・完～
ネトラレ少女の続きは本編をご覧ください。